

2

平成 26 年度

活動状況報告

2-1

事業実施計画の 達成状況報告

e-Knowledge コンソーシアム四国は平成 26 年度事業としては以下の 7 項目を挙げた。本報告では、各々の達成度について説明する。

1. 教養教育（四国学）および専門教育コンテンツの活用
2. e-Learning コンテンツの開発
3. 事業報告シンポジウムの開催
4. 共同研究シンポジウムの開催
5. 四国学を通じた四国の魅力を全国へ発信
6. 外部評価委員会の開催
7. 著作権処理の共同対応の検討

① 教養教育（四国学）および専門教育コンテンツの活用

平成 26 年度に四国学の e-Learning コンテンツを連携大学の教養教育科目として開講した。また、学際科目の e-Learning コンテンツも教養教育科目または専門教育科目として開講した。平成 26 年度前期に四国学科目 3 科目（連携大学で共同コンテンツ開発の 1 科目）、学際科目 2 科目、さらに後期には四国学科目 3 科目（連携大学で共同コンテンツ開発の 2 科目）、学際科目 7 科目が開講され、771 名の学生が履修した。これらのコンテンツ配信には各連携大学の LMS を利用した。ただし、（注 1）については、自校学生に対しては通常の対面講義で行われた。また、（注 2）の科目については、平成 26 年度は国立 5 大学（徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、高知大学、愛媛大学）では知プラ e 科目として開講され、公私立 3 大学（四国大学、徳島文理大学、高知工科大学）では eK4 科目として開講された。

■「四国学」オムニバス科目（連携大学から提供された各回のコンテンツを香川大学でまとめ、編集したもの）

開講大学	コンテンツ提供大学	科目名	履修者数（自校）	履修者数（連携大学）	合計
香川	徳島(1)香川(10)鳴門教育 (1)愛媛(1)四国(1)	四国の歴史と文化	105	高知(7) 7	112
香川	香川(9)高知(2) 徳島文理(3)	四国の地域振興	189	徳島(1)高知(9) 10	199
香川	徳島(1)香川(9)愛媛(2) 高知(1)徳島文理(1)	四国の自然環境と防災	38	鳴門教育(1) 徳島(1) 3 愛媛(1)	41
合計			332	20	352

■「四国学」および「学際科目」

開講大学	科目種別	科目名	履修者数（自校）	履修者数（連携大学）	合計
香川	四国学 A	香川を学ぶ ^(注2)	-	0	0
鳴門教育		阿波学 ^(注1) -地域文化研究-	79	0	79
徳島文理	四国学 B	地方政府論 ^(注1)	64	香川(1) 1	65
徳島	学際科目 A	知の探訪 ^(注2)	-	0	0
		地震・火山災害を防ぐ ^(注2)	-	0	0
		気象災害を防ぐ ^(注2)	-	0	0
		モラエスの徳島 ^(注2) -グローバルイズムと異邦人-	-	0	0
香川	学際科目 A	コンピュータと教育	123	高知(3) 3	126
		情報のいろは ^(注2)	-	0	0
		地域コンテンツと知財管理 ^(注2)	-	0	0
高知	学際科目 A	流れと波の災害 ^(注1)	61	香川(2) 3 徳島文理(1)	64
徳島文理		学際科目 B	情報社会論 ^(注1)	82	香川(2) 3 徳島(1)
合計			409	10	419

(注1) …自校学生に対しては通常の対面講義で行われた
(注2) …平成 26 年度は国立 5 大学（徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、高知大学、愛媛大学）では知プラ e 科目として開講され、公私立 3 大学（四国大学、徳島文理大学、高知工科大学）では eK4 科目として開講された

② e-Learning コンテンツの開発

e-Knowledge コンソーシアム四国に提供する四国学や学際科目の e-Learning コンテンツを開発した。平成 26 年度は、『四国学』オムニバス科目のコンテンツは、作成されなかった。オムニバス科目以外の『四国学』及び『学際科目』のコンテンツの作成数は 75 コマ分だった。

また平成 26 年度に開講された『四国学』オムニバス 3 科目では、連携大学から提供されたコンテンツのうち、14 コマ分のコンテンツを利用した。

■平成 26 年度「四国学」オムニバス科目-各大学コンテンツ作成数

コンテンツ作成大学	コンテンツ作成数			合計
	歴史・文化部門	社会部門	自然部門	
徳島	0	0	0	0
鳴門教育	0	0	0	0
香川	0	0	0	0
愛媛	0	0	0	0
高知	0	0	0	0
四国	0	0	0	0
徳島文理	0	0	0	0
高知工科	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

■平成 26 年度「四国学」および「学際科目」-各大学コンテンツ作成数

コンテンツ作成大学	コンテンツ作成数		合計
	四国学	学際科目	
徳島	0	16	16
鳴門教育	0	0	0
香川	14	30	44
愛媛	0	0	0
高知	0	15	15
四国	0	0	0
徳島文理	0	0	0
高知工科	0	0	0
合計	14	61	75

■平成 26 年度「四国学」オムニバス科目-コンテンツ利用状況

科目名	コンテンツ提供数							
	徳島	鳴門教育	香川	愛媛	高知	四国	徳島文理	高知工科
四国の 歴史と文化 ^(注)	1	1	10	1	0	1	0	0
四国の 地域振興 ^(注)	0	0	9	0	2	0	3	0
四国の 自然環境と防災 ^(注)	1	0	9	2	1	0	1	0
合計	2	1	28	3	3	1	4	0

(注) …各科目 全 16 回
 第 1 回目ガイダンス (香川大学：対面、連携大学：オンデマンド配信)
 第 16 回目：期末試験

③ 事業報告シンポジウムの開催

平成 26 年度の事業内容を広く公開するために、企画委員会で事業報告シンポジウムを企画し、平成 27 年 3 月 20 日に開催した。香川大学幸町キャンパス（香川県高松市）を主会場とし、各連携大学は遠隔配信で参加した。

④ 共同研究シンポジウムの開催

企画委員会で共同研究シンポジウムを企画し、以下の 2 つのシンポジウムを開催した。いずれも香川大学幸町キャンパス（香川県高松市）を主会場とし、各連携大学は遠隔配信で参加した。

- ・平成 26 年 7 月 14 日開催 「JM00C と eK4」
- ・平成 26 年 9 月 5 日開催 「eK4 共同研究シンポジウム/AXIES-csd2014 年度第 1 回研究会」

⑤ 四国学を通じた四国の魅力を全国へ発信

WWW、メールマガジン、ニュースレターにより四国学を通じた四国の魅力を全国へ発信した。ニュースレターは年 3 回（号外を含む）、コンソーシアムホームページで発行・公開している。メールマガジンは、毎月発行を継続している。また、WWW では開講科目情報や各種イベント情報などの発信を継続している。

⑥ 外部評価委員会の開催

外部有識者による外部評価委員会を開催し、コンソーシアム四国全体および各専門分野の活動計画とその達成度を評価した。具体的には、下記メンバ構成で平成 27 年 3 月 20 日に外部評価委員会を開催した。

竹内 守善	……	地域振興アドバイザー（外部評価委員長）
神野 明	……	四国学院大学 学長特別補佐
野田松太郎	……	株式会社愛媛キャンパス情報サービス代表取締役社長・愛媛大学名誉教授
三木 義久	……	四国経済連合会専務理事
野嶋佐由美	……	高知県立大学副学長

⑦ 著作権処理の共同対応の検討

今年度は著作権処理の方法を調査・整理できなかった。

その他（各連携大学が個別対応で取り組む項目）

（香川大学）

・ オープンコンテンツ化の検討

「コンピュータと教育」については、オープンコンテンツ化を検討した。

香川大学で開講されているオムニバス形式の四国学 3 科目については、各コンテンツ担当教員・各コンテンツ提供大学にオープン化の可否を調査した。

【調査結果】 35 コンテンツ中

可：23 コンテンツ

否：10 コンテンツ

判断できない：1 コンテンツ

手間・時間をかなり要する：1 コンテンツ

・ 人材育成に関わる新規事業の検討・実施

人材育成に関わる検討を行ったが、報告できる程、検討に進展が得られなかった。

（高知工科大学）

Moodle の拡張モジュールに関し、質問機能や登録者への一括メール送信機能等、前年度に引続き、香川大学と仕様の検討を行っている。